

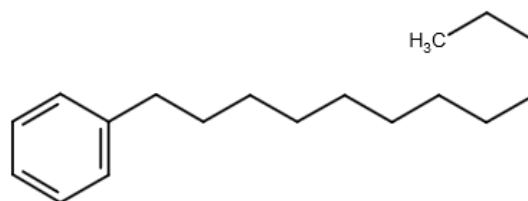
SIDS in HPV programme & CCAP
SIAM 3, 12/02/1995

初期評価プロファイル (SIAP)

ベンゼン、C₁₀-C₁₆ アルキル誘導体

物質名 : Benzene、C₁₀-C₁₆ Alkyl derivatives

CAS No. : 123-01-3、6742-54-7



結論及び勧告

化学物質のこのグループは現在の所、今後の研究の優先度が低い。

結論及び勧告理由の要旨

注意: 本化学物質はアルキルベンゼンのグループとして 6742-54-7、68442-69-3、68648-86-2、68648-87-3、129813-58-7、129813-59-8、並びに 129813-60-1 と共に論議されることになっている。

ドデシルベンゼン(123-01-3)及びウンデシルベンゼン(6742-54-7)は純物質として商業的に多くの量が生産されているわけではない。製造者は 10 から 16 の炭素原子を含むアルキル基を持つ長鎖の直鎖状アルキルベンゼン類の混合物を生産している。

洗浄剤の界面活性剤である直鎖状アルキルベンゼンスルホナート(LAS)の生産は直鎖状アルキルベンゼン類全体の 98%以上を消費する。従業員ばく露の潜在性は限られていて、まれである。低い蒸気圧と他材料加工時の管理は大気中への直鎖状アルキルベンゼン類の排出を制限している。

直鎖状アルキルベンゼン類は天然水中で迅速に優先的に生分解し、好氣的条件また、改良汚泥における微生物により、完全に無機化される。代謝されるために、これらの物質は魚において生物濃縮の潜在性はほとんどない。それらは環境中で直接の光分解または化学的変化を生じるように思われない。

おおよその水溶解度限界値まで、及びそれを超える様々な濃度で、直鎖状アルキルベンゼンは *Daphnia magna* を除く全試験種に対し急性影響はなかった。直鎖状アルキルベンゼンは急性試験において、魚よりミジンコに 10 倍の毒性がある。

直鎖状アルキルベンゼン類は急性毒性はない。反復ばく露、生殖、並びに遺伝毒性試験からのデータも毒性影響に低い潜在性を示す。消費者及び職業ばく露両方のレベルはそれらの物理化学的特性、用途、並びに取り扱いパターンに基づいて、非常に低いと予想される。

勧告される追加作業の性質

追加作業は必要ない。

[著作権および免責事項について]

[著作権]

本資料の著作権は弊センターに帰属します。引用、転載、要約、複写（電子媒体への複写を含む）は著作権の侵害となりますので御注意下さい。

[免責事項]

本資料に掲載されている情報については、万全を期しておりますが、利用者が本情報を用いて行う一切の行為について、弊センターは何ら責任を負うものではありません。また、いかなる場合でも弊センターは、利用者が本情報を利用して被った被害、損失について、何ら責任を負いません。